

育種課題の共有を

林木育種センターと打ち合わせ

三月一日(月)局において、森林総合研究所 林木育種センター 関西育種場(岡山県)と「育種事業打ち合わせ」を実施しました。局から、計画課・技術普及課が出席し意見交換等を行い、課題等を共有しました。(写真)

主な議題は、

- ・新品種の開発について
- ・エリートツリーの選抜と交雑検定林の設定
- ・三年度の局管内での林木遺伝資源の収集計画等。

- ・早生樹について
- ・マツノサイセンチュウ抵抗品種等。

特に、エリートツリーの性能評価や一般苗木との成長比較等を目的とした「第二世代精英樹試験地」のうち、安芸署の矢筈谷山国有林の初期成長について、エリートツリーと地スギの成長は、これまでのデータに基づきエリートツリーが優れている結果等の説明を受けました。



会議では、課題ごとに、参加者が活発な意見交換を行いました。そして、引き続き、研究課題への連携協力を確認し、会議を終了しました。

コウヨウザン3世代プロジェクト 島根県で講演

3月14日(木)、島根県浜田市で開催された「江の川下流域流域林業活性化センター講演会」において、当課の本田企画官が講演しました。(写真)

演題は「コウヨウザン3世代プロジェクトについて」。

内容は、四万十署 辛川山国有林に設定しているコウヨウザン試験地における獣害対策を含めた取り組みを中心に講演しました。

終了後、担当者等から、「島根県ではコウヨウザンが造林補助の対象樹種に指定されており、本日の講演を聴く機会を得て、今後の植林に向けても大きな自信が持てました」等の感想が寄せられました。



編集後記

元号が「平成」から「令和」に。
新緑とともに春が訪れ、そして新しい年度に。
一日一日を大切に過ごして。
今年度もご愛読を。

4. 1付 異動になりました。

「よろしくお願ひします」



技術普及課長 内藤晴敬
(前 森林技術総合研修所経営研修課研修企画官)

企画官(自然再生担当) 橋口勝一
(前 安芸署次長)

企画係長 清岡 聡子
(前 高知中部署事務管理官(経理担当))

「お世話になりました」

復興庁岩手復興局参事官(宮古支所長)として異動になりました。技術普及課長在任中は、お世話になりました。(濱本高光)

高知中部署事務管理官(管理担当)として異動になりました。企画係長在任中はお世話になりました。(北川絵美)

「退職しました」

企画官(自然再生担当)在任中はお世話になりました。4月から徳島署で行政専門員として勤務します。(藤丸 功)